

市長から市民の皆さまへ 市長メッセージ

7月になり、夏本番の季節を迎えますが、市民の皆さまにはご自愛頂きますよう祈念しております。

令和最初の守山市議会6月定例会では、提案させて頂いた補正予算や条例案などすべて議決頂いたところ。補正予算では、①環境センターの付帯施設である温水プールを含む「交流拠点施設」についての設計見直しを踏まえ、令和3年4月オープンに向けた整備費 ②市内小中学校における学習系パソコンを普通教室の授業やグループワークで活用できるタブレット型へ更新・充実する予算 ③本年10月からの消費税率引上げに伴う経済への反動に対して、住宅・店舗リフォームに一定の助成を行う予算などをお認め頂きました。また、駅前周辺におけるマンションなどの立地状況を踏まえ、近隣紛争の未然防止と住環境の確保の観点から、事業者が構想段階において届出を行い、市の「まちづくり方針」に照らして調整し、必要に応じて、指導・公表する「共同住宅等に係るまちづくり調整条例」が6月定例会において制定されたところ。認められた補正予算や条例を活かし、引き続き、諸課題の解決に取り組んでまいります。

7月27日(土)には、駅前から中山道まで歩行者天国で盛り上がる「もりやま夏まつり」が開催されます。実行委員会の皆さまのご尽力により、毎年、趣向を凝らした企画や運営を頂いており、関係者の皆さまに感謝申し上げます。ぜひ、ご家族でお越し頂き、「守山のいちばんアツい夜」を楽しんで頂

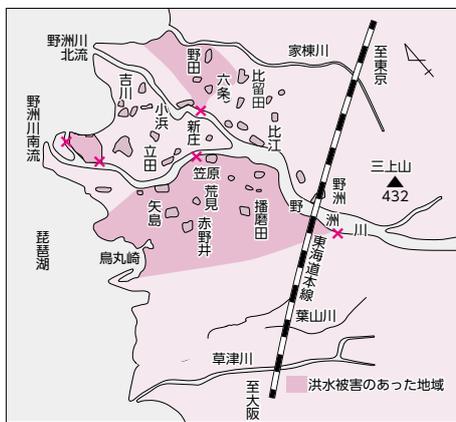
ければと存じます。

7月下旬からは、守山の市花である「近江妙蓮」が見ごろを迎えます。「近江妙蓮」は地元保存会の皆さまの一年を通しての多大なご尽力により、毎年美しい花を咲かせてくれます。地元の皆さまに改めて感謝申し上げます。近江妙蓮公園は開花シーズンの7月7日(日)から8月3日(土)までは無休で開園しております。

8月4日(日)には、第54回滋賀県消防操法訓練大会が開催され、守山市消防団を代表して吉身分団が出演されます。消防団の皆さまには、地域のために日夜尽力頂き、改めて感謝申し上げます。今回の大会に向けて、早朝からの厳しい練習の成果を、遺憾なく発揮して頂くとともに、市民の皆さまからの温かい声援をお願い申し上げます。

さて、国の「避難勧告等に関するガイドライン」が改定され、災害時に避難行動が容易にとれるよう、警戒レベルを5段階に分け、防災情報を提供することになりました。レベル3が「避難準備・高齢者等避難開始」、レベル4が「避難勧告、避難指示(緊急)」、レベル5が「災害の発生」です。大阪北部地震から丸1年を迎えた先月18日、新潟・山形地震が発生したところ。また、これから台風などによる災害が多くなる季節となります。安全・安心メールなどでお届けする防災情報には十分ご留意頂き、適切な対応を心がけて頂きますようお願いいたします。

守山市長 宮本和宏



昭和28年9月の13号台風による破堤箇所図



昭和28年洲本地先の浸水時の様子



偲ぶよう未来へ、考えよう未来を。

流々大河①

旧野洲川の歴史は 人と洪水の戦いの歴史

現在の野洲川が通水してから40周年を迎えました。本シリーズでは、市民に親しまれる現在の野洲川ができるまでの歴史を振り返ります。

かつての野洲川は川田町付近から南流と北流に分かれていました。上流より極端に狭く曲がりくねった河床の高い天井川で、大雨になると増水した水が直接堤防にあたり、決壊したり溢れたりして洪水を起こしていました。

旧南北流の堤防の付近には多くの集落がありましたが、洪水に苦しむ人たちは、暮らしを守るため、長い年月をかけて堤防を補強したり高くなり丈夫なものにしてきました。しかし、その堤防によって上流から運ばれた土砂が溜まりやすくなり、さらに河床が高くなり洪水が発生するという皮肉な状態を繰り返してきました。

過去の文献資料をひもとくと、野洲川は文亀3年(1503年)から放水路が通水された昭和54年(1979年)までに48回もの大水害の記録があり、実に10年に1度の割合で発生していたこととなります。数多くの水害伝承や碑がその被害の大きさを物語っています。